

親学 日本財団助成 音楽を学ぶ子どもたちの保護者&指導者に贈る レクチャー&コンサート

音楽の大好きな、音楽性豊かな子どもに育てほしい。
そんな願いを込めて、音楽を学ぶ子どもたちの保護者の皆様、保育士・指導者の皆様に、
「親学」をテーマに、すてきなお話と音楽をお届けします！

乳幼児からの 音楽教育

～聴覚と音環境の視点から～

2009.11.23 月祝 14:00～16:00

会場 仙台イズミティ21小ホール

入場料 一般・会員1,000円 / 学生(高校生以下) 500円



仙台市営地下鉄中央線より徒歩5分
(仙台駅から泉中央駅へは市営南北線
で約10分)

レクチャー

■子どもの「音楽を聴く力」の成長

私たち大人は日々何気なく音楽を楽しんでいますが、子どもはどのように音楽を聴いているのでしょうか？最近の学際的研究で、赤ちゃんの持つ音楽聴取や表現に関する素晴らしい能力が明らかになっています。このレクチャーでは最先端の研究結果から、子どもの持つ力を再確認していただきます。

■家庭の中での音楽環境作りは？

7～8か月の赤ちゃんが、モーツァルトのソナタの一部を2週間にわたって記憶できることが報告され、子どもを取り巻く音楽環境がその後の人生に大きな意味を持つ可能性が明らかになってきています。そして、赤ちゃんは文化を問わず生得的に、両親の歌いかけを好んで聴く特性を持っていることも分かってきました。でも先ず大切なことは、子どもにとって自分が「大好きな人が楽しんでいる」姿を見せることなのです。その理由は、このレクチャーでお示しいたしましょう。

コンサート・曲目

作詞 北原白秋 / 作曲 山田耕筰:かやの木山
作詞 高野辰之 / 作曲 岡野貞一:ふるさと
作詞 清水かつら / 作曲 弘田竜太郎:叱られて
ブッチーニ:オペラ「ジャニススキッキ」より『私の愛しいお父様』
J.クラーク:トランペットヴォランタリー ほか

講師

志村洋子先生(埼玉大学教育学部 教授 博士(教育学))



しむらようこ◎東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業後、同大学院音楽研究科修士課程修了。
1992年に文部省内地研究員として東京大学医学部音声学言語医学研究施設において「乳幼児音声の音響学的研究」を、また2001年には在外研究員としてストックホルム大学音声学言語研究施設において「マザリーズ音声に関する比較実験研究」を実施。大学では乳幼児教育講座に所属し、小学校及び幼稚園教諭、保育士の養成に携わっている。二期会会員、日本赤ちゃん学会副理事長。<主な研究分野>乳幼児の歌唱音声の発達研究、乳児音声並びに成人のマザリーズ(対乳児発話音声)の音響分析的研究、居室内や保育室、教室内の快適音響環境に関する研究など。<主な著書>『乳児の音声における非言語情報に関する実験的研究』(風間書房)、『乳幼児と赤ちゃん学(共著)』(フレーベル館)、『乳児保育の基本(共著)』(フレーベル館)など。

奏者



大内裕子先生
(ソプラノ)



高橋明浩先生
(トランペット)



庄司美知子先生
(ピアノ)

ご予約・
お問合せ

ピティナ仙台Michi
ステーション
ピティナ仙台おりひめ
ステーション

TEL.022-264-1846 / FAX.022-264-1846
FAX.022-234-7140 www.piano.or.jp ピティナ・ピアノホームページ

